

令和3年度 専門実務課程

資金調達・運用戦略の基本

＜地方公共団体金融機構と共催＞

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）では、「資金調達・運用戦略の基本＜地方公共団体金融機構と共催＞」と題した研修を下記のとおり開催します。

地方債制度、金融市場の仕組み、金利、債券、リスクマネジメント等に関する講義、演習等により、資金調達に係る多様な選択肢の中から、自らの団体にとって最適なものを選び出す手法を探るとともに、資金運用についての専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を図ります。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。

日程	令和3年7月5日(月)～7月7日(水) (3日間)
申込期限	令和3年6月1日(火)
対象	市区町村の資金調達又は資金運用に携わる職員 市区町村において、特に希望する場合には、該当しない職員についても申込みの上、受講することができます。
定員	40名
経費	6,200円 食費を除く。また、教材用図書費が別に必要となる場合があります。
申込方法	当研修所ホームページの「募集中の研修」より申込を希望する科目を選択し、「電子申込」で申し込んでください。（「電子申込」が難しい場合には、「研修受講申込書」に必要事項を御記入の上、FAXにより送信してください。
場所	市町村職員中央研修所 通称：市町村アカデミー

問合せ先 ♣ ♣ ♣ ♣ ♣

市町村職員中央研修所 研修部 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田1-1
TEL 043-276-3126 FAX 043-276-8484 URL <https://www.jamp.gr.jp>

※記載内容については、都合により変更となることもあります。あらかじめ御了承ください。



7月5日/月

11:00 - 12:00

受付

12:30 - 13:00

開講式・オリエンテーション、研修のねらい

13:00 - 14:10 **講義**

地方財政制度、地方債制度

地方公共団体金融機構職員

制度の基本原則をはじめ、地方財政における調整機能や地方債全体の信用維持のための様々な仕組みについて学びます。

14:20 - 15:40 **講義**

地方債の金利の見方、実践スプレッド分析①

地方公共団体金融機構職員

地方公共団体の借入について、金利に関する考え方を理論的に学びます。また、金融機関の資金調達コストが指標金利に概ね連動することを学んだ上で、スプレッドを推計する手法を学びます。

15:50 - 17:10 **演習**

グループ別討議①

ファシリテーター:地方公共団体金融機構職員

事前アンケートにより各団体での問題点など課題を把握した上で、参加者間での課題の共有化及び課題の解決に向けて、グループ別に意見交換、討議を行います。

7月6日/火

9:00 - 9:50 **演習**

実践スプレッド分析②

地方公共団体金融機構職員

1日目の「実践スプレッド分析①」で学んだ手法を用いて、ケーススタディを交えて実践します。

10:00 - 12:00 **講義**

地方債の借入交渉

地方公共団体金融機構職員

地方公共団体が金融機関から地方債として資金を借り入れる際、借入額、期間、金利等についてどのように交渉を進めるか、ケース別に学びます。

13:00 - 15:00 **講義**

資金運用のリスクと管理(基礎編・応用編)

地方公共団体金融機構職員

歳計現金・基金の運用に係るリスクや留意点について、法令を踏まえた基礎的事項を学びます。また、自治体の資金管理事例を踏まえ、リスク管理や効率的な運用手法について学びます。

15:10 - 17:45 **事例紹介**

資金調達・運用に係る取り組み

地方公共団体職員

地方公共団体の資金調達・運用について、先進的な取り組みを行っている事例を御紹介いただきます。

7月7日/水

9:00 - 10:10 **講義**

銀行を理解しよう

地方公共団体金融機構職員

銀行の経営内容を理解するためのポイントについて学びます。

10:20 - 12:00 **講義**

地方債管理と財政分析

地方公共団体金融機構職員

地方公共団体の地方債管理及び財政分析のポイントについて学びます。

13:00 - 14:10 **演習**

グループ別討議②、研修のふりかえり

ファシリテーター:地方公共団体金融機構職員

研修を通じて得た基礎知識や他都市の事例を踏まえて、自らの団体の課題解決に向けて、どのような取り組みを行うべきか、グループ別に意見交換、討議を行い、研修内容のふりかえりを行います。

14:10 -

修了式